

与那原中学校 英語科シラバス 2学年

1 授業のねらい(身に付けて欲しい力)

教科書名 (Sunshine English Course 2)

補助教材 (英語のパートナー)

- ・基本的な語彙・文法・表現を理解し、「聞く・話す・読む・書く」の四技能で使える力を身につける
【知識・技能】
- ・英語で情報を整理・分析し、自分の考えや意見を相手に伝えられる力を育てる【思考・判断・表現】
- ・英語の学習に興味・関心を持ち、英語を使った活動やコミュニケーションに積極的に取り組む力を身に付ける
【主体的に学習に取り組む態度】

2 授業の進め方

- ・各単元で身に付けさせたい力を明確にし、帯活動と連動させ「聞く・話す・読む・書く」の四技能をバランスよく育成することを目標に授業を展開する。
- ・ペアワークやグループ活動を取り入れ、目的・場面・状況に応じて主体的に英語でコミュニケーションを行う場を多く設定する。
- ・自立した学習者を育成するために、めあてによる見通しと振り返りの時間を設け、生徒自らの学びを客観的に捉え調整する力を醸成する。合わせて英語辞書の活用を促す。

3 学習上の留意点

- ① 休み時間に5点セットを机の上に用意しておく。授業中に取りに行かない。
- ② 授業に積極的に参加する。聞くとき、活動するときメリハリをつけてしっかり取り組みましょう。
- ③ クラスメイトと教え合ったり、注意し合ったりするなど協力して学習する。
- ④ 間違いをおそれずに、英語をどんどん使おう！（使うことで、記憶力UP!）

4 補助教材の活用方法(自学自習の進め方)

- ① 英語のパートナーを活用して授業の振り返りなどをしましょう。
- ② タブレットを活用してWorld Classroomの音読練習やタブドリに取り組み、基礎基本を固めよう!

5 テスト

- ・PROGRAMごとに単元テスト・年に2回50分テストを実施します。
- ・単元の目標に応じて、パフォーマンステストを実施します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・評価問題・ミニテスト ・単元テストなど	・評価問題・ミニテスト ・単元テストなど	・課題 ・学びに向かう姿勢
方法	評価内容の項目ごとの満点に対して A：80%以上 B：40%以上80%未満 C：40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して『知識・技能』の評価とします。	評価内容の項目ごとの満点に対して A：80%以上 B：40%以上80%未満 C：40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して『思考・判断・表現』の評価とします。	評価内容の項目ごとの満点に対して A：80%以上 B：40%以上80%未満 C：40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して『主体的に学習に取り組む態度』の評価とします。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学学習に取り組みましょう。提出物も忘れずに!）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
I 学 期	4	1年生の復習 Program1 New Start (未来表現・動名詞)	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・	・未来表現や動名詞の意味や働きを理解している。 ・自分の考えや気持ちを相手にわかってもらうために、誘いたい遊びやイベントについて、具体的な内容とともに伝えている。
	5	Step1 簡単な表現で言いかえよう Program2 Koshien Project in Africa (接続詞 that / when / if)	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・言い方がわからない単語を自分が知っている表現を使って説明する方法を理解している。 ・接続詞の意味や働きを理解している。 ・自分の小さなころの思い出を相手に伝えるために、当時したことや自分の考えなどを具体的な内容とともに伝えている。
	6	Power Up1 天気予報を聞こう Step2 魅力を伝えるためのコツを知ろう	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・天気予報で使う語句や表現を理解している。 ・カナダの天気を知るために、天気予報を聞いて、地名、天気、気温など必要な情報を捉えている。 ・おすすめのものの魅力について、効果的に伝える技能を身に付けている。
	7	Program3 Taste of Culture (不定詞) Our Project 4 海外でヒットするラーメンのCMを作ろう Reading1 The Three Dolls	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・不定詞(名詞的・副詞的・形容詞的用法)の意味や働きを理解している。 ・地域のイベントで売りたいものについて、自分の考えを相手にわかってもらうために、その目的や具体的な内容とともに伝えている。 ・物語について自分の考えを伝えるために、The Three Dolls の物語を読んで、その概要や登場人物の心情を捉えている。
	8 ・ 9	Power-Up 2 電話をかけよう Program4 Leave Only Footprints (must / have to / 不定詞)	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・電話で使う語句や表現を理解している。 ・感情の原因を表す不定詞、must や have to ~ の意味や働きを理解している。 ・修学旅行を快適に過ごすために、クラスメートが納得できるようなルールを書いている。
	10	Step3 わかりやすい見出しをつけよう Program5 Work Experience (how to / look 形容詞 / 動詞(give など) 人 + もの)	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・読み手にわかりやすい見出しをつけるための具体的な方法を理解している。 ・how to ~、<look+形容詞>、<give+人+もの> の意味や働きを理解している。 ・相談にきた人の悩みを解決するために、悩んでいる内容を理解し、実行しやすいアドバイスを伝えている。
	11	Program6 High- Tech Nature (比較級・最上級 / as ~ as)	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・比較表現の意味や働きを理解している。 ・自分の考えや気持ちが相手に伝わるように、自分を取り組めそうな省エネ対策について、現状と比較しながらわかりやすく伝えている。

2 学 期		Power Up 4 メールで近況報告をしよう メールで使う表現、過去形の復習		・自分の近況を相手に伝えるために、最近の出来事について自分の感想などを含めながら、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある文章を書いている。
	12	Step 4 相手にわかりやすい説明をしよう Our Project 5 日本のおすすめスポットを紹介しよう Reading2 Friendship beyond Time and Borders	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・わかりやすい説明に必要な要素や、説明する順序を理解している。 ・日本に住む外国の人たちにおすすめスポットの魅力が伝わるように、効果的な見出しをつけたり、説明文の順序に工夫をしたりしながらグループでポスターを作成している。 ・トルコと日本間の友好関係について理解するために、トルコと日本に関する英文を読んで、概要や要点を捉えている。
	1	Program7 Unique Animals (like を使う比較表現 / teach[tell] + 人 + how to) PowerUp5 飛行機のアナウンスを聞こう (空港や飛行機内での英語表現)	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・like を使う比較表現や<teach [tell] +人+how to ~>の意味や働きを理解している。 ・クイズ大会で高得点を得るために、動物の特徴についてわかりやすい語句や表現を使って順序も考慮しながら書いている。 ・空港アナウンスで使われる表現や、運行状況や到着地の天候についての表現を理解している。
	2	Program8 A Hope for Lasting Peace (受け身表現) Step5 説得力のある説明をしよう	・単元テスト ・パフォーマンステスト	・受け身の意味や働きの理解をもとに、身の回りのものであるについて伝える技能を身に付けている。 ・自分が好きなキャラクターについて相手にわかってもらえるように、由来や好きな理由など、さまざまな情報をまとめて詳しく伝えている。 ・客観的事実や具体的な理由を述べるなど、説得力のある説明の仕方を理解している。
	3	Our Project 6 My Hero の魅力を伝えよう Reading3 Apollo 13	・パフォーマンステスト	・自分が尊敬する人物の魅力を伝えるために、その人物に関する情報を簡単な語句や文を用いて書いている。 ・アポロ 13 号の帰還を可能にしたものは何かを理解するために、アポロ 13 号に関する英文を読んで、概要や要点をとらえている。